



2020年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年7月12日

上場会社名 株式会社DDホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3073 URL <https://www.dd-holdings.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松村 厚久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括 (氏名) 樋口 康弘 (TEL) 03-6858-6080
 四半期報告書提出予定日 2019年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第1四半期の連結業績(2019年3月1日~2019年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年2月期第1四半期 | 14,388 | 13.5 | 847 | 42.2 | 845 | 51.5 | 578 | 70.4 |
| 2019年2月期第1四半期 | 12,682 | 60.5 | 595 | △16.2 | 558 | △20.8 | 339 | △23.5 |

(注) 包括利益 2020年2月期第1四半期 601百万円(153.7%) 2019年2月期第1四半期 237百万円(△47.7%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年2月期第1四半期 | 75.64 | — |
| 2019年2月期第1四半期 | 44.40 | — |

2019年2月期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、2020年2月期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2020年2月期第1四半期 | 29,386 | 7,156 | 21.0 |
| 2019年2月期 | 26,537 | 6,267 | 21.8 |

(参考) 自己資本 2020年2月期第1四半期 6,185百万円 2019年2月期 5,782百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年2月期 | — | 0.00 | — | 18.00 | 18.00 |
| 2020年2月期 | — | — | — | — | — |
| 2020年2月期(予想) | — | 9.00 | — | 9.00 | 18.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日~2020年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|------|-------|------|-------|------|-----------------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 29,070 | 12.5 | 1,470 | 18.5 | 1,450 | 21.0 | 840 | △14.2 |
| 通期 | 57,730 | 13.3 | 2,340 | 10.6 | 2,350 | 5.3 | 1,170 | 7.8 |
| | | | | | | | | 152.90 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社(社名) 株式会社エスエルディー

(注) 詳細は、添付資料P.10「3. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.10「3. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2020年2月期1Q | 7,821,360株 | 2019年2月期 | 7,821,360株 |
| ② 期末自己株式数 | 2020年2月期1Q | 169,294株 | 2019年2月期 | 169,294株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2020年2月期1Q | 7,652,066株 | 2019年2月期1Q | 7,652,066株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来見通しに関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により本資料記載の予想と異なる可能性がございます。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 5 |
| 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | |
| 四半期連結損益計算書 | 8 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 9 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) | 10 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 10 |
| (セグメント情報) | 11 |
| (追加情報) | 12 |
| (重要な後発事象) | 12 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第1四半期連結累計期間の全社業績

(単位：千円、%)

| | 前第1四半期 | 当第1四半期 | 増減額 | 増減率 |
|------------------|------------|------------|-----------|------|
| 売上高 | 12,682,035 | 14,388,544 | 1,706,509 | 13.5 |
| 営業利益 | 595,952 | 847,526 | 251,573 | 42.2 |
| 経常利益 | 558,409 | 845,758 | 287,349 | 51.5 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 339,769 | 578,804 | 239,034 | 70.4 |
| 営業利益率 | 4.7 | 5.9 | +1.2ポイント | |

当第1四半期連結累計期間(2019年3月1日～2019年5月31日)におけるわが国経済は、各種政策等の効果もあって、景気の緩やかな回復基調が続いており、雇用・所得環境の改善が続く中で、個人消費も緩やかではありますが持ち直しております。その一方で、通商問題の動向が世界経済に与える影響や、中国経済の先行き、海外経済の動向と政策に関する不確実性、金融資本市場の変動の影響、更には2019年10月に予定される消費税の引き上げなどもあり、依然として先行きの不透明感が拭えない状況が続いております。

外食業界におきましても、原材料価格や物流費の上昇、長引く人手不足に伴う人件費の上昇等により、依然として厳しい事業環境が続いております。

このような環境のなか、国内の飲食カテゴリー及びウェディングカテゴリーで構成される国内飲食事業の既存店売上高前年対比は101.1%、アミューズメント事業は108.0%となりました。

なお、当社は、2019年3月1日付で、持分法適用関連会社であった株式会社エスエルディー(証券コード3223、東京証券取引所JASDAQスタンダード市場)を実質支配力基準に基づき子会社としたため、連結の範囲に含めております。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高14,388,544千円(前年同期比13.5%増)、営業利益847,526千円(同42.2%増)、経常利益845,758千円(同51.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益578,804千円(同70.4%増)となりました。

また、当第1四半期連結累計期間の店舗展開状況につきましては以下のとおりであります。

『直営店舗出退店等の状況(2019年5月31日現在、海外店舗含む)』

| | 既存店 | 新店 | 退店 | 連結の範囲の変動に伴う増加(※) | 合計 | 業態変更 |
|------------|-----|----|----|------------------|-----|------|
| 飲食事業 | 373 | 11 | 6 | 53 | 431 | — |
| アミューズメント事業 | 55 | 1 | 1 | — | 55 | — |
| 合計 | 428 | 12 | 7 | 53 | 486 | — |

※2019年3月1日付にて株式会社エスエルディーを連結子会社化(運営受託店舗2店舗除く)。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①『飲食事業』

(単位：千円、%)

| | 前第1四半期 | 当第1四半期 | 増減額 | 増減率 |
|----------|------------|------------|-----------|------|
| 売上高 | 10,388,781 | 11,907,415 | 1,518,634 | 14.6 |
| セグメント利益 | 849,483 | 1,058,416 | 208,933 | 24.6 |
| セグメント利益率 | 8.2 | 8.9 | +0.7ポイント | |

当第1四半期連結累計期間における飲食事業は、4月末から5月初めにかけての大型連休は、一部ビジネス立地で運営する店舗にて苦戦したものの、商業施設立地で運営する店舗などでは集客増となりました。従前どおり既存ブランドのブラッシュアップを継続的に実施し、広告媒体の最適化などを行い顧客満足度の向上に努めるとともに、更なるブランドポートフォリオ拡充のための業態開発にも注力してまいりました。

新たな取り組みといたしましては、当第1四半期連結会計期間に連結子会社化した株式会社エスエルディーにおいて、他社が保有するIP (Intellectual Property：知的財産) コンテンツを活用した期間限定コラボレーションイベント等の実施に特化した業態「collabo_Index (コラボスペースインデックス)」を直営店のうち2店舗で開始いたしました。

主な出店状況につきましては、国内では株式会社ダイヤモンドダイニングが「WINEHALLGLAMOUR」を東京都品川区に、株式会社商業藝術が「和カフェyusoshi」を大阪市阿倍野区に、株式会社ゼットンが「FEEL GREEN CAFE」や「日本橋高島屋 ROOFTOP BBQ ビアガーデン」を東京都中央区に、また、都立葛西臨海公園内に「PARKLIFE CAFE & RESTAURANT」を含む4店舗を出店するなど業態並びに展開エリアの拡充に取り組んでまいりました。

海外においては、株式会社ゼットンの子会社であるZETTON, INC. が新しいスタイルのカジュアルなステーキハウスである「ALOHA STEAK HOUSE (アロハステーキハウス)」をハワイ州に出店するなど、国内外合わせて11店舗の出店を行い新規ブランドでの出店にも力をいれてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における飲食事業の経営成績は、売上高11,907,415千円 (前年同期比14.6%増)、セグメント利益1,058,416千円 (同24.6%増) となりました。

また、当第1四半期連結累計期間の店舗展開状況につきましては以下のとおりであります。

『飲食事業の直営店舗出退店等の状況 (2019年5月31日現在、海外店舗含む) 』

| | 既存店 | 新店 | 退店 | 連結の範囲の変動に伴う増加(※) | 合計 | 業態変更 |
|------|-----|----|----|------------------|-----|------|
| 飲食事業 | 373 | 11 | 6 | 53 | 431 | — |

※2019年3月1日付にて株式会社エスエルディーを連結子会社化 (運営受託店舗2店舗除く)。

②『アミューズメント事業』

(単位：千円、%)

| | 前第1四半期 | 当第1四半期 | 増減額 | 増減率 |
|----------|-----------|-----------|----------|------|
| 売上高 | 2,293,253 | 2,481,128 | 187,874 | 8.2 |
| セグメント利益 | 419,599 | 542,627 | 123,028 | 29.3 |
| セグメント利益率 | 18.3 | 21.9 | +3.6ポイント | |

当第1四半期連結累計期間におけるアミューズメント事業は、各店舗において各種キャンペーンを継続的に実施するとともに、最新機種 of ダーツ機である「DARTSLIVE3」の導入や風営法等の解釈運用基準の改正にともなうダーツ機の増設や深夜営業時間の延長を実施したことに加えて、店舗内で複数コンテンツを楽しんでいただくための回遊性の向上にも継続して注力してまいりました。また、複合カフェにおいては、映画等のコラボレーション施策を実施、鍵付きブース改修等の設備強化を進めるなど、アミューズメント事業の各店舗において新規顧客の獲得並びに既存顧客の満足度向上に努めてまいりました。

新たな取り組みといたしましては、株式会社ネクシーズグループ (証券コード：4346、東京証券取引所市場第一部) がプロデュースする定額制セルフエステスタジオ「BODY ARCHI (ボディアーキ)」に、パートナーとして参画することといたしました。

主な出店状況につきましては、東京都町田市に新設された商業施設「AETA町田」内に「GRAN CYBER CAFE BAGUS

町田店」を出店いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるアミューズメント事業の経営成績は、売上高2,481,128千円（前年同期比8.2%増）、セグメント利益542,627千円（同29.3%増）となりました。

また、当第1四半期連結累計期間の店舗展開状況につきましては以下のとおりであります。

『アミューズメント事業の直営店舗出退店等の状況（2019年5月31日現在）』

| | 既存店 | 新店 | 退店 | 連結の範囲の変動に伴う増加 | 合計 | 業態変更 |
|------------|-----|----|----|---------------|----|------|
| アミューズメント事業 | 55 | 1 | 1 | — | 55 | — |

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

連結貸借対照表 要約

(単位：千円、%)

| | 前連結会計年度 | 当第1四半期 | 増減額 | 増減率 |
|--------|------------|------------|-----------|------|
| 総資産 | 26,537,899 | 29,386,584 | 2,848,684 | 10.7 |
| 純資産 | 6,267,572 | 7,156,577 | 889,005 | 14.2 |
| 自己資本比率 | 21.8 | 21.0 | △0.8ポイント | |

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ2,848,684千円増加し、29,386,584千円となりました。主な要因といたしましては、投資有価証券が507,934千円減少したものの、現金及び預金、有形固定資産、のれん、差入保証金がそれぞれ1,436,061千円、510,540千円、472,406千円、450,134千円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1,959,679千円増加し、22,230,006千円となりました。主な要因といたしましては、未払法人税等が424,123千円減少したものの、短期借入金、長期借入金、買掛金、未払費用がそれぞれ241,666千円、769,475千円、306,797千円、257,393千円増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ889,005千円増加し、7,156,577千円となりました。主な要因といたしましては、利益剰余金、非支配株主持分がそれぞれ441,067千円、482,358千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2019年7月11日付「2020年2月期第2四半期連結業績予想の上方修正に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり、通期の業績予想に変更はございません。なお、今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、今後につきましては他社の国際会計基準(IFRS)適用の動向等を踏まえた上で、国際会計基準(IFRS)の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年2月28日) | 当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,675,335 | 7,111,397 |
| 売掛金 | 639,972 | 1,053,099 |
| 預け金 | 378,673 | 606,355 |
| 商品 | 23,177 | 22,159 |
| 原材料及び貯蔵品 | 340,451 | 379,583 |
| 前払費用 | 945,935 | 990,722 |
| 未収入金 | 379,914 | 341,381 |
| その他 | 410,077 | 91,475 |
| 貸倒引当金 | △7,546 | △8,923 |
| 流動資産合計 | 8,785,993 | 10,587,250 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 17,791,891 | 18,677,010 |
| 減価償却累計額 | △9,241,966 | △9,731,001 |
| 減損損失累計額 | △2,499,426 | △2,518,783 |
| 建物(純額) | 6,050,498 | 6,427,225 |
| 車両運搬具 | 5,729 | 12,147 |
| 減価償却累計額 | △5,107 | △5,635 |
| 車両運搬具(純額) | 622 | 6,512 |
| 工具、器具及び備品 | 5,325,449 | 5,655,195 |
| 減価償却累計額 | △3,950,896 | △4,211,635 |
| 減損損失累計額 | △359,482 | △357,413 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 1,015,069 | 1,086,146 |
| 土地 | 148,859 | 148,859 |
| リース資産 | 693,100 | 684,612 |
| 減価償却累計額 | △602,049 | △596,434 |
| 減損損失累計額 | △69,209 | △69,209 |
| リース資産(純額) | 21,841 | 18,968 |
| 建設仮勘定 | 70,363 | 130,082 |
| 有形固定資産合計 | 7,307,253 | 7,817,794 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 2,934,276 | 3,406,682 |
| 商標権 | 15,215 | 14,159 |
| ソフトウェア | 96,215 | 103,854 |
| その他 | 35,143 | 63,385 |
| 無形固定資産合計 | 3,080,849 | 3,588,081 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 662,616 | 154,681 |
| 長期前払費用 | 157,852 | 164,958 |
| 差入保証金 | 5,577,461 | 6,027,595 |
| 繰延税金資産 | 606,101 | 693,506 |
| その他 | 131,557 | 140,803 |
| 投資その他の資産合計 | 7,135,589 | 7,181,545 |
| 固定資産合計 | 17,523,693 | 18,587,421 |
| 繰延資産 | | |
| 開業費 | 228,213 | 211,912 |
| 繰延資産合計 | 228,213 | 211,912 |
| 資産合計 | 26,537,899 | 29,386,584 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年2月28日) | 当第1四半期連結会計期間 (2019年5月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 1,369,254 | 1,676,051 |
| 短期借入金 | 200,000 | 441,666 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 3,782,339 | 3,792,704 |
| 1年内償還予定の社債 | 50,000 | 10,000 |
| 未払費用 | 1,503,556 | 1,760,950 |
| 未払法人税等 | 755,650 | 331,526 |
| 賞与引当金 | 62,851 | 134,296 |
| 株主優待引当金 | 50,386 | 29,430 |
| ポイント引当金 | 57,036 | 50,241 |
| 資産除去債務 | 8,404 | 35,547 |
| その他 | 1,601,008 | 2,232,324 |
| 流動負債合計 | 9,440,487 | 10,494,739 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 9,085,267 | 9,854,743 |
| リース債務 | 16,686 | 12,051 |
| 資産除去債務 | 1,578,253 | 1,674,540 |
| 長期前受収益 | 17,285 | 16,352 |
| 繰延税金負債 | 4,671 | 7,891 |
| その他 | 127,674 | 169,686 |
| 固定負債合計 | 10,829,839 | 11,735,266 |
| 負債合計 | 20,270,327 | 22,230,006 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 699,384 | 699,384 |
| 資本剰余金 | 689,029 | 641,459 |
| 利益剰余金 | 4,338,451 | 4,779,518 |
| 自己株式 | △71,732 | △71,732 |
| 株主資本合計 | 5,655,132 | 6,048,630 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 12,848 | 9,308 |
| 為替換算調整勘定 | 114,921 | 127,064 |
| その他の包括利益累計額合計 | 127,770 | 136,372 |
| 新株予約権 | — | 4,547 |
| 非支配株主持分 | 484,669 | 967,027 |
| 純資産合計 | 6,267,572 | 7,156,577 |
| 負債純資産合計 | 26,537,899 | 29,386,584 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 12,682,035 | 14,388,544 |
| 売上原価 | 3,089,939 | 3,407,986 |
| 売上総利益 | 9,592,096 | 10,980,558 |
| 販売費及び一般管理費 | 8,996,143 | 10,133,031 |
| 営業利益 | 595,952 | 847,526 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 174 | 325 |
| 受取協賛金 | 32,702 | 26,981 |
| 受取地代家賃 | 18,872 | 22,942 |
| その他 | 41,076 | 23,075 |
| 営業外収益合計 | 92,825 | 73,325 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 23,562 | 20,840 |
| 賃貸費用 | 16,200 | 20,842 |
| 支払手数料 | 3,918 | 12,196 |
| 持分法による投資損失 | 75,048 | — |
| その他 | 11,640 | 21,213 |
| 営業外費用合計 | 130,369 | 75,093 |
| 経常利益 | 558,409 | 845,758 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 4,269 | 1,183 |
| 受取和解金 | 215,000 | — |
| 段階取得に係る差益 | — | 16,678 |
| 特別利益合計 | 219,269 | 17,861 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 41 | 1,147 |
| 減損損失 | — | 45,809 |
| 解約違約金 | 8,000 | — |
| その他 | 1,400 | 9,031 |
| 特別損失合計 | 9,442 | 55,988 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 768,235 | 807,631 |
| 法人税等 | 371,602 | 214,645 |
| 四半期純利益 | 396,632 | 592,986 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 56,863 | 14,181 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 339,769 | 578,804 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年5月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 396,632 | 592,986 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △110,636 | △3,540 |
| 為替換算調整勘定 | △48,899 | 12,142 |
| その他の包括利益合計 | △159,535 | 8,602 |
| 四半期包括利益 | 237,097 | 601,588 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 213,464 | 598,411 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 23,632 | 3,176 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当社は、2019年3月1日付で、持分法適用関連会社であった株式会社エスエルディー（証券コード3223、東京証券取引所 JASDAQスタンダード市場）を実質支配力基準に基づき子会社としたため、連結の範囲に含めておりません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|------------|----------------|------------|-------------|-------------------------------|
| | 飲食事業 | アミューズ メント事業 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 10,388,781 | 2,293,253 | 12,682,035 | — | 12,682,035 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 10,388,781 | 2,293,253 | 12,682,035 | — | 12,682,035 |
| セグメント利益 | 849,483 | 419,599 | 1,269,082 | △673,129 | 595,952 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△673,129千円は、主に各報告セグメントに配分していない間接部門費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注)1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2 |
|-----------------------|------------|----------------|------------|-------------|-------------------------------|
| | 飲食事業 | アミューズ メント事業 | 合計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 11,907,415 | 2,481,128 | 14,388,544 | — | 14,388,544 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 11,907,415 | 2,481,128 | 14,388,544 | — | 14,388,544 |
| セグメント利益 | 1,058,416 | 542,627 | 1,601,044 | △753,517 | 847,526 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△753,517千円は、主に各報告セグメントに配分していない間接部門費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第1四半期連結会計期間において、2019年3月1日付で持分法適用関連会社であった株式会社エスエルディー(証券コード3223、東京証券取引所JASDAQスタンダード市場)を支配力基準に基づき連結子会社としたことに伴い、前連結会計年度の末日に比べ、「飲食事業」のセグメント資産が1,342,795千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」において、撤退済2店舗及び撤退予定2店舗等について減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては36,409千円であります。

「アミューズメント事業」において、撤退済1店舗について減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては9,400千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「飲食事業」において、2019年3月1日付で持分法適用関連会社であった株式会社エスエルディー（証券コード3223、東京証券取引所JASDAQスタンダード市場）を実質支配力基準に基づき連結子会社としたことに伴い、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において、525,678千円であります。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。